

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室では、茨木市、千葉大病院との協働により「生活習慣関連パラメータの短期的変動データを活用した生活習慣介入手法の検討研究」を実施しています。

【研究課題名】

生活習慣関連パラメータの短期的変動データを活用した生活習慣介入手法の検討

【研究期間】 研究機関の長の許可日～2028年3月31日

【研究の意義・目的・方法】

現在の日本において、糖尿病や心血管疾患などの生活習慣病の発症や重症化により健康寿命の延伸が阻まれています。このため、平成20年度より特定健診制度が導入され、糖尿病や心血管疾患の高リスクな方の抽出や特定保健指導を行ってきました。しかし、健康日本21の最終評価ではいまだメタボリック症候群の割合は増加しています。また、生活習慣病の発症予防には生活習慣の量的な行動目標の設定が必要になるものの、明確な指標は存在していません。

そこで本研究では、生活習慣と持続血糖、血圧などの変動との関係を分析し、予防や健康づくりの分野において、生活習慣病の発症や重症化を予防するために効果的な評価指標を作成することを目的としています。

具体的な研究方法としては、今年度の特定健診又は定期健康診断に併せて、検査で残った血液を用いて、追加でインスリン測定、並びに体組成測定を実施し、それらの結果を含めた健診結果（検査結果、質問票）を、茨木市、千葉大病院を通じてご提供いただくとともに、持続血糖、並びに血圧（起床時、就寝前）、身体活動量、体重、食事内容、咀嚼回数の測定結果を併せてご提供いただき、結果を大学で分析します。

【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

茨木市 市長 福岡洋一

千葉大学医学部附属病院 病院長 横手幸太郎

【研究結果の公表】

研究結果は茨木市、千葉大学病院にそれぞれ還元するとともに、学会や学術雑誌で発表します。大阪大学のホームページや広報等に概要が掲載されることがあります。

【研究責任者及び研究代表者】

大阪大学医学系研究科公衆衛生学 特任准教授 野口緑

【個人情報の保護と倫理的配慮について】

研究実施の際は、お名前などの参加者を特定できる情報の代わりに、研究用の符号をつけることで個人を特定できないようにします。また、この研究が適切に行われているかを確認するために大学の研究者が検査結果などを見ることがあります。研究参加者が本研究に同意された場合、検査結果等の内容を見ることについてもご了承いただいたこととなります。

また、この研究で得られた結果は、個人情報が特定できない形で学会や医学雑誌等に公表されることがありますが、個人の結果が公表されることはありません。また、研究参加者の皆さまが不利益を受けたり、危険性が生じたりする可能性はありません。

これらを踏まえ、ご自身の情報の利用停止を希望する場合は、ご本人またはその代理人から下記まで申し出てください。

【本研究に関する問い合わせ先】

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学

電話番号：06-6879-3916

メールアドレス：mkyomu@pbhel.med.osaka-u.ac.jp